



平成24年度 富加小学校教育活動の成果と課題 ～児童・保護者アンケート、職員の自己評価結果より～

日頃より、本校の教育活動にご理解とご支援を頂き、誠に有り難うございます。

学校では、職員が自己評価を行ったり、児童や保護者にアンケートをとったりして、本年度の指導や取組についてふり返り、それらに基づいて来年度の教育活動計画の作成や改善を始めております。また、学校評議員さんによる学校関係者評価会議での評価も、今後に生かすよう努めてまいります。

重 点	内 容	達成率		
		児童	保護者	教師
わくわくする授業 よくわかる授業の創造	1 よく分かる授業	85.1%	79.6%	80.9%
	2 漢字や計算などの基本的な力	83.5%	78.4%	77.9%
	3 個に応じた指導	88.2%	77.5%	85.0%
仲間とよりよく生きるための 人間関係の醸成	1 時と場に応じたあいさつや行動	82.0%	71.8%	75.0%
	2 「よいとこみつけ」	88.5%	73.2%	83.8%
	3 楽しい学校	88.6%	87.8%	83.8%
健康で安全な 生活習慣の育成	1 安全な登下校	84.0%	82.4%	73.6%
	2 危険を回避	89.9%	76.8%	72.1%
	3 進んで運動	91.3%	86.0%	83.3%
	4 給食指導・食育	88.3%	81.8%	83.3%
図書館の積極的な利用	1 読書指導	80.5%	74.4%	79.2%
こだわり活動の取組	1 あいさつ	82.5%	76.2%	77.8%
	2 掃 除	81.5%	86.5%	83.3%
	3 歌 声	85.2%	83.3%	84.7%
生徒指導の推進	1 教育相談	80.7%	81.8%	83.3%
	2 「叱ることができる」教職員集団	84.2%	82.9%	86.1%
地域に開かれた学校経営	1 説明責任		83.4%	80.6%
	2 地域連携		83.9%	75.0%
	3 明るく丁寧な対応		85.3%	87.5%
	4 適切な管理		84.6%	86.1%
「絆の日」の取組	1 「絆の日」の取組	91.3%	78.4%	81.6%

「加重平均」による達成率の算定

評価点とその人数を乗じた和を 全員が最高評価点を出したときの数値の割合で求めた。

$\{4 \times (4点の人数) + 3 \times (3点の人数) + 2 \times (2点の人数) + 1 \times (1点の人数)\} \div (4 \times 総人数) \times 100$

評価の考察 成果〇と課題▲

【重点1】 わくわくする授業，よく分かる授業の創造

- 80パーセントを超える児童が，日々の授業に対し，「よく分かる」「できることやわかることがふえてきた」と回答している。職員や，保護者も評価も高い。
- ▲ 高評価ではあるが，全国学力状況調査や，県の学習状況調査結果につながるような教育環境を整備していく必要がある。
- ・ 算数科の授業を充実させ，一人一人の児童の力を高める取組としての，算数科を核とした校内研究を推進する。
- ・ 宿題以外の家庭学習に取り組む児童が極端に少ないという実態を踏まえ，保護者の協力のもとに家庭学習の充実を図る。

【重点2】 仲間とよりよく生きるための人間関係の醸成

- 「楽しく学校に登校」については，児童，保護者共90パーセントに近い数値となっている。
- ▲ 一方，「時と場に応じた挨拶や行動」については，児童の意識は高いが，職員，保護者共評価が低い。
- ▲ 「よいとこみつけ」については，どの学年も発達段階に応じた手法で取り組んでいる。児童の評価も高いが，保護者に学校での取組の様子や成果が伝わっていないことがうかがえる。

【重点3】 健康で安全な生活習慣の育成

- 「進んで運動したり遊んだりできましたか？」については，児童，保護者共90パーセントに近い数値となっている。職員による評価も高い。
- ▲ 一方，「危険を回避・・・」については，児童の意識は高いが，職員，保護者共評価が低い。

【重点4】 学校図書館の積極的な利用

- 職員，児童共，80%に近い達成率である。保護者の意識としては「進んで本を借りていない」という評価になっている。
- ▲ 学級の中に，図書を借りる冊数が少ない子がいるのは事実だが，毎週計画的に借りている事実をもっと保護者に伝えることが大切である。

【重点5】 こだわり活動の取組

- 職員と保護者の数値が似通っている。保護者にとっては，あいさつの状況は，交通立ち番の時などに，その状況を把握することができるが，学校内で行われる「掃除・合唱」については，その様子を見ていただく機会が設けられていない。
- ▲ 「こだわり活動」として学校教育の重要な柱となっている活動を，どんな場で保護者に見ていただくかが課題でもある。

【重点6】 信頼と愛情を基盤にして共感的理解に徹し、自己指導力を育てる生徒指導の推進

- 職員，保護者共，80%を超える数値である。
- ・ 4日間ずつ年2回行う教育相談や，毎週行う職員打ち合わせ会での，生徒指導の交流などを通し，気になる児童の姿については，適宜ケース会議を開き，早期対応に努めた。
- ・ 毎朝，子どもたちを教室で迎え，青空や昼休み等の休み時間には，子どもたちと共に遊ぶことを通し，児童理解に努めた。
- ▲ 不登校傾向の児童や，いじめに発展しかねないような問題があるのも事実である。
- ▲ 保護者からの記述にあったように，「子どもが納得できる叱られ方」つまり，「保護者が納得できる叱り方」となるような指導に心掛けることが大切である。

【重点7】地域に開かれた学校経営

- 「地域よさを生かした教育活動」については、職員の評価が75%であったが、その以外は、職員保護者共、高い評価である。
- ・学校の教育活動に対する、PTAや富加町教育委員会、地域の方々からの温かい支援を当たり前と思わず、子どもたちにとって「自慢できる自分づくり」につながるよう、日々の教育活動に取り組まなければならない。

【重点8】「絆の日」の取組

- 児童にとっては、「青空の時間の遊びや運動」と共に、最も高かった評価項目である。命の教育を意図的、計画的に取り組んできたことであり、保護者の関心が高くてよい項目ではないだろうか。日常の取組をPRすることが重要である。

保護者のご意見・ご要望と学校の取組

ここでは、保護者の皆様から寄せられましたご意見・ご要望の中で主に学校全体に関わる内容とそれについての学校の取組や改善策についてご報告させていただきます。

【学習・生活全般に関して】

1 児童への指導援助に関して

- ・引き続き、子どもに合わせた指導をしていただけるとありがたいです。悪いことをしたら、びしっと、何がどういけないのか指導していただけたら助かります。
- ・落ち着いた無気な面が気になります。少しおどおどした態度を取っているような気がします。ストレスも感じているようです。
- ▲一方的に叱られたことや、同じことをしても叱られる子と叱られない子がいるそうです。子どもの理由を聞き、子どもが納得できるように指導してほしいです。

➡ 良かれと思って指導することでも、子ども自身に「一方的」「公平でない」ととられないように心掛けて指導して参ります。また、指導にかかわっては、ご家庭にも連絡させていただきます。

2 登下校に関して

- ・家が遠いので、帰る時間が遅くなるととても心配です。道草をせずに帰るよう声かけをしていただきますようお願いいたします。
- ▲登校中に急に走ります。何度言っても行動に移せないところが気になっています。
- △分団で集合したときに、子どもたち同士のあいさつがないのが気になります。

➡ 「登下校の安全」「通学班内でのあいさつ」を重点に、新1年生を加えた通学班編成の準備を進めていきます。

【学校全体・行事などに関して】

3 子どもの姿(通知表)

- ・2学期は通知表の所見がないとのこと。所見は、2学期間のがんばりを認め、次の課題を示すものです。是非お願いしたいです。

➡ 2学期末の教育活動予定表を見なおし、2学期の生活や成績のまとめができる時期に、学習や生活に関する個人懇談会を設けて所見をお伝えします。担任と保護者の互いの思いを伝え合うことができると考え、2学期の所見に代えさせていただきます。どうぞご理解ください。

4 学校行事, PTA活動

- ・運動会の選手リレーですが、低学年でも高学年のように、グラウンドを走るようになったら、とても盛り上がると思いますので考えてください。
- ・運動会の時のことですが、閉会式の最中なのにテントを片付け始めるところもあった。閉会式が終わって、応援団の子と子どもたちが一生懸命にやっているのに、大人たちは早く片付けて帰ろうとしていたとき、「折角子どもたちがやっているのに、見てあげないのか」と祖母に言われました。
- ・懇談会の内容の検討や、もっと保護者の方へ出席してもらえようと呼びかけなどをしてほしいと思います。

➡ 学校教育や家庭教育に対する高齢者の意見を大切に聞かせていただきたいと思います。授業参観後の懇談会への参加について、保護者からの要求で、児童預かりのサポートが富加町のはからいで実現しました。これにより、安心して懇談会に参加できるという保護者の声を聞くことができました。懇談会内容については、活動の様子を伝える映像等を活用し、積極的に話題を提供することを考えていきます。

5 学校生活に関して

- ・今のところ楽しく学校に行けていますので、特に心配なことはないです。
- ・昨年は、「学校に行きたくない」と言うことがありました。理由をちゃんと話してくれたので、「もう少しだからがんばろうね」と励まし、欠席することなく通いました。今の学年になってからは、そんなことを全く言うことなく通うようになりました。勉強は苦手なことも多々ありますが、このまま元気に楽しく通ってくれたらと思います。
- ・友だちとの関係で悩んでいます。消極的な性格で、なかなか仲間づくりができず、学校が楽しくないと言っているようで、少し心配になっているところです。
- ・学校の中が楽しく明るい雰囲気です。読み聞かせボランティアに行くといつも感じます。
- ・6年生になり、1年生の子の世話をするのが楽しい様子です。学年を超えてのつながりができるのはとてもよいことと思うので、これからも続けていってほしいです。

➡ 「学校が楽しい」と感じる児童の姿から、保護者の皆様に安心感を抱いていただけるのはありがたいことです。保護者の皆様が安心してお子さんを通学させられるよう、一人一人の児童に寄り添うことを大切にし、一人一人のお子さんの理解を深め、発達段階に応じた指導に努めていきます。

保護者の皆様からの貴重なご意見をありがとうございました。今後とも、本校の教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



(ドッジボール大会)



(大縄跳び大会)